



ねぎし・まり アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山シーザンガイド～春・夏」など。



神戸市立森林植物園内にあるさくら園

上岡本(ほくら~ととや) 桜回廊づくりプロジェクトが進む六甲山  
下桜回廊づくりプロジェクトの植樹風景

サクラには園芸種も含めて多くの種類がある。見比べて楽しめるのが、園内の一画にある「さくら園」だ。神戸市立森林植物園(同市北区)だ。は、オオヤマザクラ、マメザクラ、オオシマザクラ、エドヒガンなど、色も姿も多様な約100本が植えら

る。市民を巻き込んで、植えた苗は既に250本に達した。自生しているヤマザクラも多く、六甲山の山肌を春色で彩る。

◆フォトセミナー「春の草花撮影会」 4月7日10時半～15時、六甲高山植物園映像館集合(六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「高山植物園」)。日本山岳写真協会の近藤嘉彦さんと浅生稔さんが、園内で見ごろを迎えたカタクリやミズバシヨウなど春の花々の撮影方法をわかりやすく解説する=写真。参加無料(別途入園料中学生以上620円、4歳～小学生310円)。先着30人。電話で申し込む。雨天時は14日に順延。六甲高山植物園□078-891-1247

◆摩耶詣祭～摩耶山春山開き～ 3月23日。10時半から、摩耶山天上寺で「摩耶詣(御馬詣)」。天上寺に参詣した馬が厄払い、花かんざしを授けられて、掬星台へパレードする▽11時半、掬

星台で「摩耶山春山開き」。だんじり囃子の演奏やミニボニーショー、修験者による柴燈護摩供など。限定200食の摩耶鍋の販売やお餅まき、先着400人にモ耶昆布の無料配布も。荒天中止。摩耶山觀光文化協会(摩耶山天上寺内) □078-861-2684

◆クリスマスローズ展～幻の花 ヘレボルス・チベタヌス～ 3月16日～31日10～17時、六甲高山植物園ヒマラヤ区(六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「高山植物園」)。四川省の奥地に自生する「ヘレボルス・チベタヌス」200株が露地栽培されている様子=写真=を観賞できるほか、13種類の原種クリスマスローズの鉢が展示される。貴重な花苗の販売も▽16日13時、特別講演会「世界のクリスマスロ

ーズを訪ねて」。講師は横山直樹さん。定員30人。電話で申し込む。中学生以上620円、4歳～小学生310円。六甲高山植物園□078-891-1247

◆探鳥会「夏鳥たちとの再会」 4月14日9時、新幹線「新神戸」駅1階コンコース集合。神戸の裏庭、六甲山を歩きながら、オオルリ、ヤブサメ、センダイムシクイ、キビタキなど夏鳥の観察をする。15時ごろ解散。弁当、飲み物、双眼鏡、図鑑、フィールドノートなど持参。300円、大学生以下無料。予約不要。雨天中止。日本野鳥の会ひょうご□078-382-0489(土曜日の14～18時)

◆4月のミントサロン「六甲山系に生息するチョウ標本・命と育ちを感じる体験活動」 4月18日19時～20時半、ミント神戸18階のミントテラス(JR「三ノ宮」駅)。講師は環境省登録環境カウンセラーの橋本敏明さん。六甲山系に生息する80種以上のチョウ標本=写真=を展示し解説するほか、チョウの食草や吸蜜植物の植栽、「長田をチョウ舞うま

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。そのプログラムの紹介や、山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第2火曜日に掲載)

六甲山周辺には多くの名所があるが、山麓で見られるのはほとんどが植栽されたソメイヨシノ。華やかに咲いて、散る姿は壮观といえる。人の手で接木をして増やすソメイヨシノはすべてが遺伝的に同じ樹齢は130年を超えるそうだが、一般的には、40年を過ぎてから樹勢が衰える傾向があるという。そんなことも背景にあるのだろうか。近頃は自生種のサクラに注目が集まっている。神戸・岡本の背山で活動する市民

## 自生種のサクラ 市民が植樹

日増しに春めいて、そろそろサクラよりも気になる季節になってきた。六甲山周辺には多くの名所があるが、山麓で見られるのはほとんどが植栽されたソメイヨシノ。華やかに咲いて、散る姿は壮观といえる。人の手で接木をして増やすソメイヨシノはすべてが遺伝的に同じ樹齢は130年を超えるそうだが、一般的には、40年を過ぎてから樹勢が衰える傾向があるという。そんなことも背景にあるのだろうか。近頃は自生種のサクラに注目が集まっている。神戸・岡本の背山で活動する市民

## 岡本の背山で桜回廊づくり

ボランティアが連携して取り組む「岡本(ほくら~ととや) 桜回廊づくりプロジェクト」は、尾根にあらソメイヨシノの桜並木に、ヤマザクラの苗を補植している。個体差がないソメイヨシノとは異なり、木によって花の色に濃淡がある。新芽の色もさまざま。自生種なので、特別な管理をしなくても元気育ち、寿命が長いのも大きな特徴だ。同じエリアにあっても同時に開花するわけではないので、長く楽しめる。プロジェクトの活動開始から4年。市民を巻き込んで、植えた苗は既に250本に達した。自生しているヤマザクラも多く、六甲山の山肌を春色で彩る。

標高約400mと山麓の名所に比べると、開花時期はやや遅め。早咲きの品種もある。神戸市立森林植物園は午前9時から午後4時半。水曜休園。(最終入園は午後4時半)。入園料は、15歳以上300円など。□078-591-0253



### 山小屋

岡本(ほくら~ととや) 桜回廊づくりプロジェクトの植樹チーム



岡本(ほくら~ととや) 桜回廊づくりプロジェクトの植樹チーム

岡本(ほくら~ととや) 桜回廊づくりプロジェクトの植樹チーム

東灘区において、国や兵庫県などが進める六甲山系グリーンベルト整備事業の一環で、4月6日、過去の植樹会で植えたヤマザクラの状況確認や活動地見学を兼ねたお花見ハイキングが開かれる。岡本の背山エリア(神戸市)にて、ボランティアが連携して取り組む「岡本(ほくら~ととや) 桜回廊づくりプロジェクト」は、尾根にあらソメイヨシノの桜並木に、ヤマザクラの苗を補植している。個体差がないソメイヨシノとは異なり、木によって花の色に濃淡があり、新芽の色もさまざま。自生種なので、特別な管理をしなくても元気育ち、寿命が長いのも大きな特徴だ。同じエリアにあっても同時に開花するわけではないので、長く楽しめる。プロジェクトの活動開始から4年。市民を巻き込んで、植えた苗は既に250本に達した。自生しているヤマザクラも多く、六甲山の山肌を春色で彩る。



岡本(ほくら~ととや) 桜回廊づくりプロジェクトの植樹チーム

岡本(ほくら~ととや) 桜回廊づくり